

## イワヤの犬・猫の脚骨折を修復する

2024.03.01

トミー・マック

## 1. 要点

イワヤの小型の犬や猫などのぬいぐるみの脚は、落としたり踏つけて骨折することが多いです。修復するには折れた脚を瞬間接着剤で仮固定した後、太めのステンレス線を添え線とし、細いステンレス線で縛り、割れた部分をしっかり補強して固定します。最終的に難接着物用接着剤（PPX など）で固定します。

しかしながら、太めのステンレス線（ $\phi 0.9\text{mm}$ ）の添え線と細いステンレス線（ $\phi 0.28\text{mm}$ ）で巻き付けるには、下穴を明け細いステンレス線を通す作業や、端末を振り切断した先端を内側へ丸める作業に手間を要し、ステンレス線で指を突き刺すこともあります。

そこで今回は、より簡単で手間の少ない脚の修復する方法を説明します。但し脚の骨折箇所によっては修復できません。

名付けて「ステップルインプラント法」とします。

## 2. 方法

## (1) 用意するもの

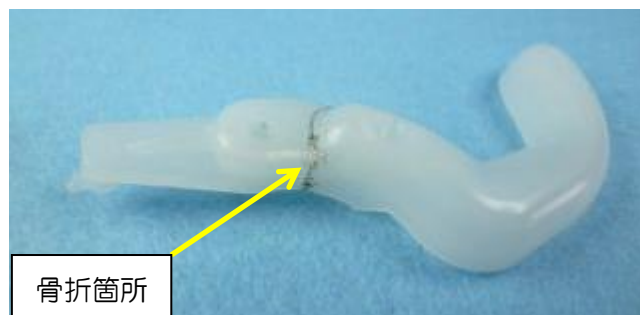
- ・ステープル（事務用標準品）
- ・半田ごて（出来たら  $400^{\circ}\text{C}$  で温度調節できるもの）
- ・縫い糸



## (2) 修理（例：イワヤの「赤ちゃんシリーズの犬」の右後脚）

## (a) 仮留め

折れた脚を瞬間接着剤で仮留めします。



## (b) ステープルの前加工

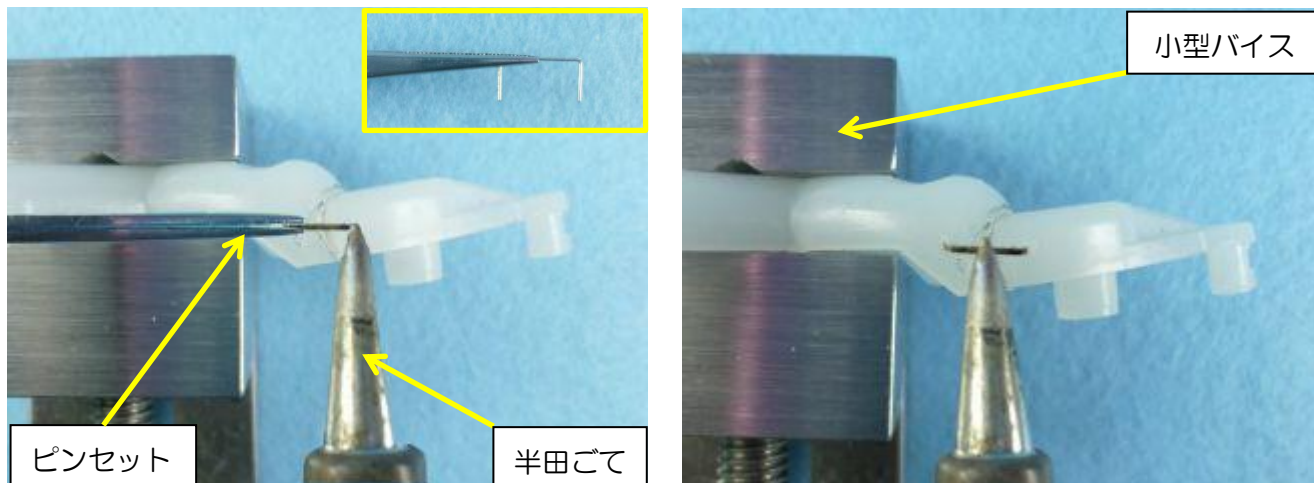


ステープルの幅を、折れた脚を繋げる寸法に合わせて「コの字」に折り曲げ、高さは樹脂の厚みを突き抜ける寸法に合わせ、挿入しやすいよう斜めにカットします。

## イワヤの犬・猫の脚骨折を修復する

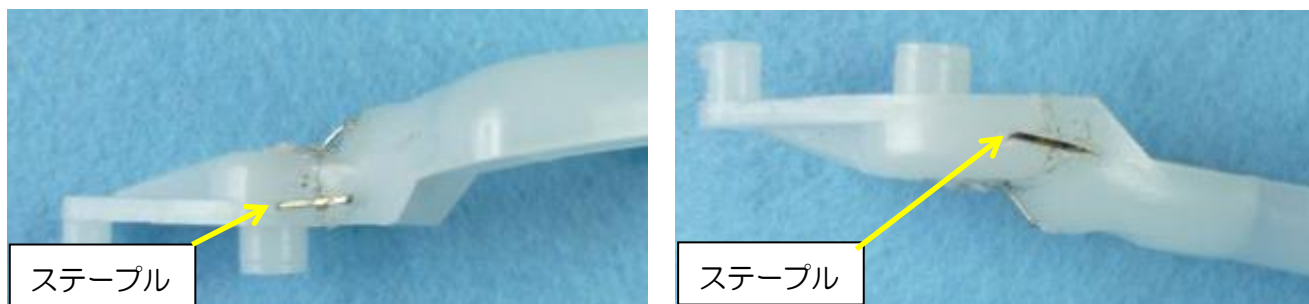
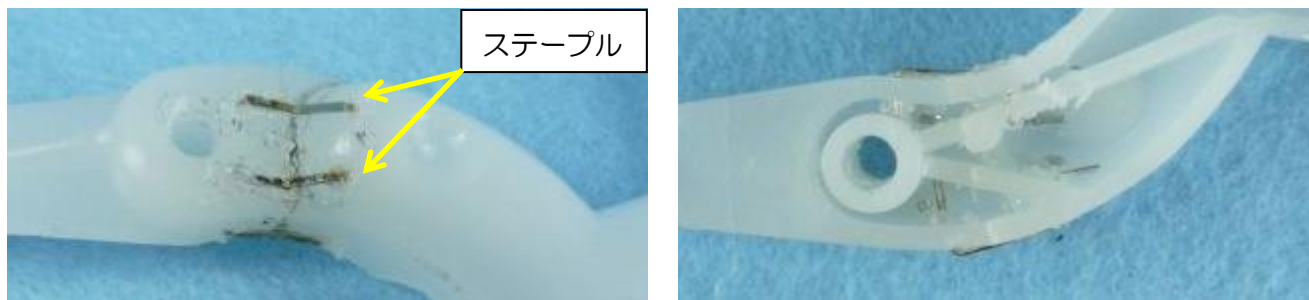
### ...(c)...ステープルの挿入

加工したステープルをピンセットで摘み、ステープルをインプラントする片側の孔にあてがい、半田ごての先端を当てて半分位押し込みます。もう一方も同じようにして押し込みます。両方が押し込めたら、ステープルの中央に半田ごてを当て、樹脂に接するまで押し込みます。半田ごての温度は、400℃にすると早く押し込めます。



強度を増すため数か所にステープルを埋め込みます。

樹脂を突き抜けたステープルは、直角に折り曲げると強度が増します。



### ...(d)...補強

ステープル周りを補強するため、縫製糸を周囲を巻き付け、瞬間接着剤で固定します。

終わり

